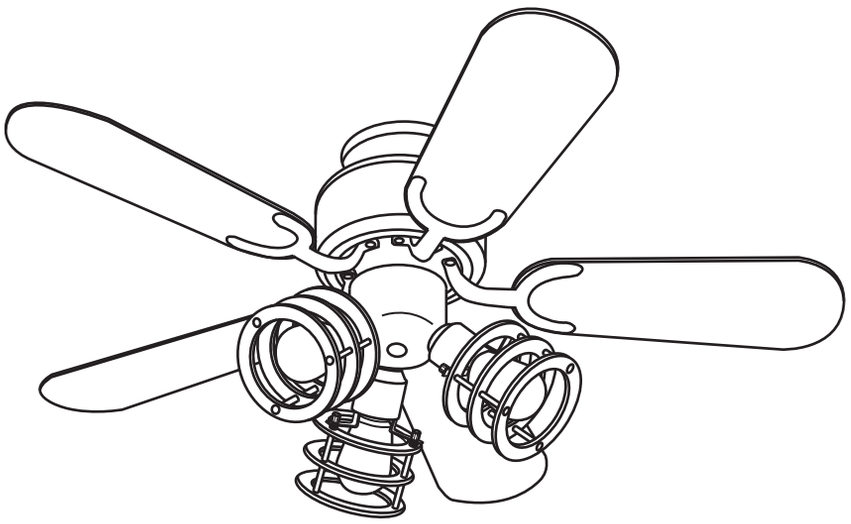
シーリングファン取扱説明書

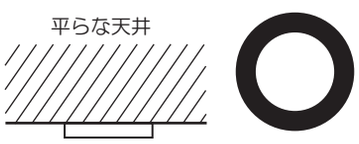
型番：YCF-358



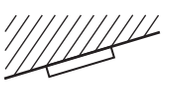
■天井を確認してください

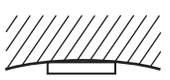
取り付けできます

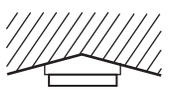
平らな天井



取り付けできません


傾斜天井

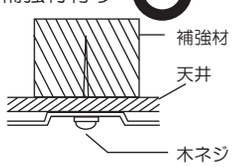

簡単にたわむ天井
（補強材が弱い天井）


傾斜をあわせた
船底天井

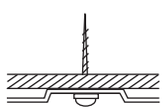
■木ネジを使用する場合

必ず補強材のある箇所に確実に止めてください

補強材有り



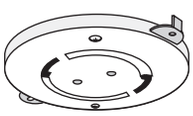
補強材無し

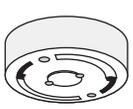


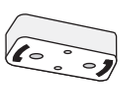
※器具の取り付けは重量に耐えるところに確実に行ってください。
取り付けに不備があると落下し、けがの原因になります。

■接続器を確認してください

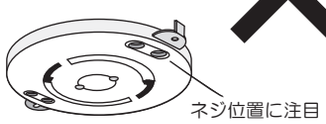
以下のものは使用できます


引掛埋込ローゼット


丸形引掛
シーリングボディ

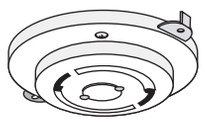

角型引掛
シーリグボディ

使用できません
（接続器の交換）



引掛け露出ローゼット

天井への取付方法が
２種類ある為、取付
不可能な場合があります

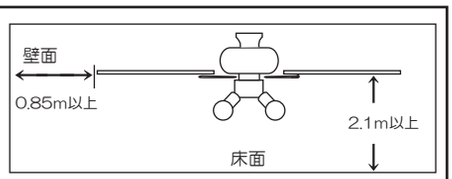

フル引掛ローゼット

※一般の方の電源工事は禁止されておりますので、電気工事店に依頼してください。

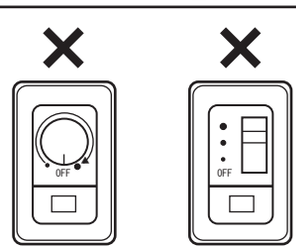
■取り付け位置を確認してください

器具の取り付け位置は必ず指定の寸法以上を確保して取り付けてください。指定以下の寸法で取り付けると正常に動作・機能しない場合があります。

※壁面には取り付けできません。



■壁スイッチを確認してください



壁に調光式スイッチが付いているお部屋では、器具の故障となりますのでご使用できません。

※この取扱説明書はいつでも見られる所に大切に保管してください。

輸入元　株式会社 ユーワ
北海道旭川市東鷹栖４線 10 号 2-1
TEL 0166-57-7000
URL http://n43-youwa.com

商品のお問い合わせフリーダイヤル
０１２０－８１－２９８８

（受付時間　土曜・日曜・祝日を除く 10:00 ～ 17:00）

MADE IN TAIWAN

部品の数量と名称を確認してください。

組立の際はプラスドライバーをご用意ください。

アタッチメント	本体	シェード	羽根	電球	羽根支持金具	木ネジ	ローゼット用ビス外側	ローゼット用ビス内側	羽根支持金具用ビス	羽根用ビス	ワッシャー	リモコン	単4乾電池リモコン用
ビス4本付		固定ナット各3個付き					ワッシャー付		(予備1)	(予備1)	(予備1)		
1	1	3	5	3	5	4	2	2	11	16	16	1	2

器具の組み立て方

注意　必ず家のブレーカーを 切 にしておこなってください。

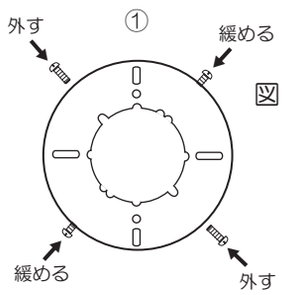
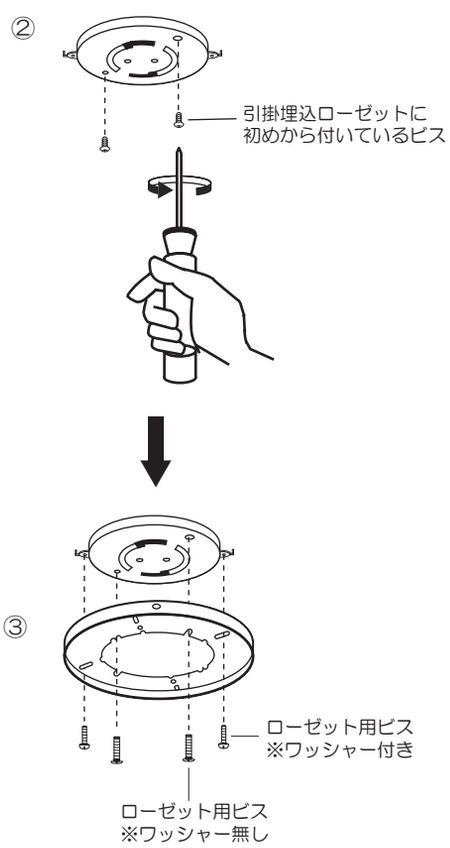
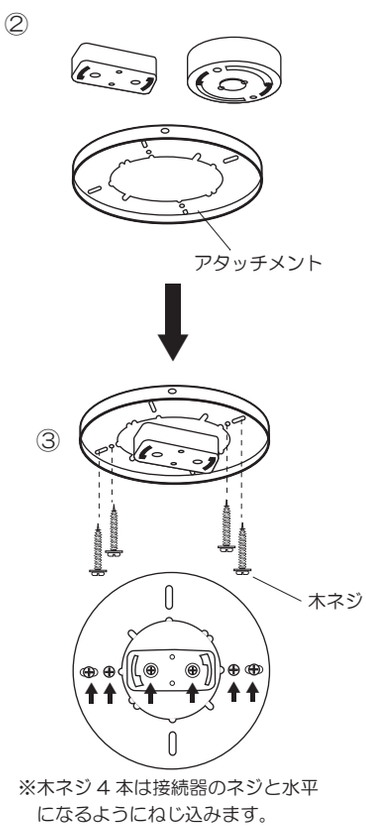


図 1

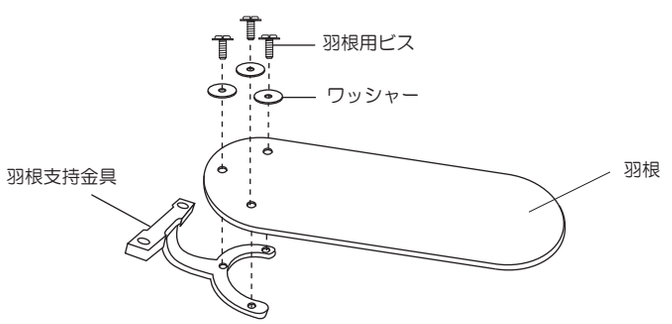
Ⓐ 引掛埋込ローゼットに取り付ける場合



Ⓑ 角型・丸型引掛シーリングボディに取り付ける場合



※木ネジ４本は接続器のネジと水平になるようにねじ込みます。



1. アタッチメントの取り付け

① アタッチメントのビスを図1のように外す、緩めるなどしてください。
（外したビスは後で使います）

Ⓐ 引掛埋込ローゼットに取り付ける場合

②引掛埋込ローゼットに初めから付いているビス(2本)を外してください。

③アタッチメントを付属のローゼット用取付ビスで引掛埋込ローゼットに取り付けてください。
外側２本はワッシャー付です。
内側２本のワッシャー無しビスはアタッチメントの内穴のくぼみ(半円)にビスの頭がかかるように締めてください。

Ⓑ 角型・丸型引掛シーリングボディに取り付ける場合

②アタッチメントを角型・丸型引掛シーリングボディにくぐらせてください。

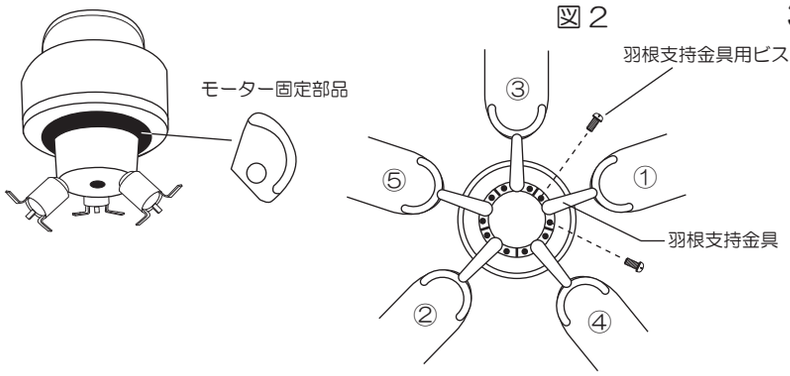
③アタッチメントを付属の木ネジ4本で確実に取り付けてください。
この時、必ず補強材(梁)のある箇所に確実に木ネジを止めてください。

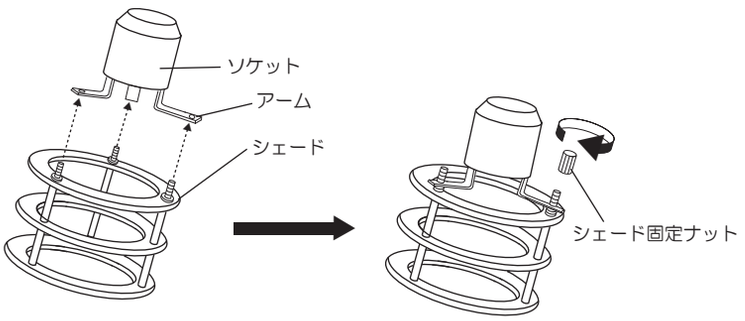
2. 羽根の組立て

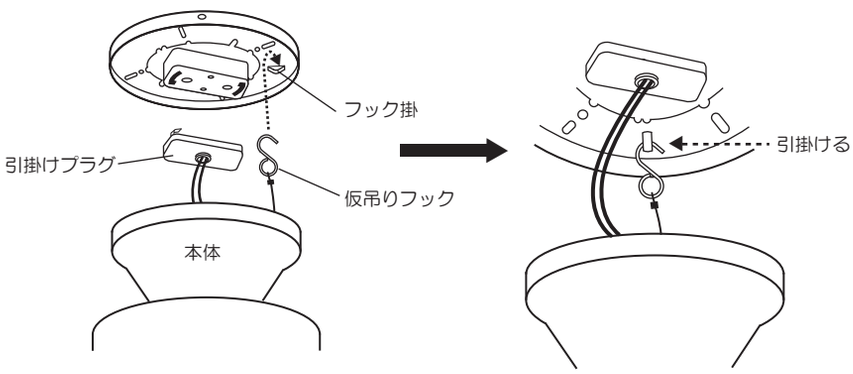
羽根用ビスにワッシャーを付け、羽根支持金具を羽根に合わせ、羽根用ビスを確実に締めてください。

※羽根は両面使用可能です。

図２







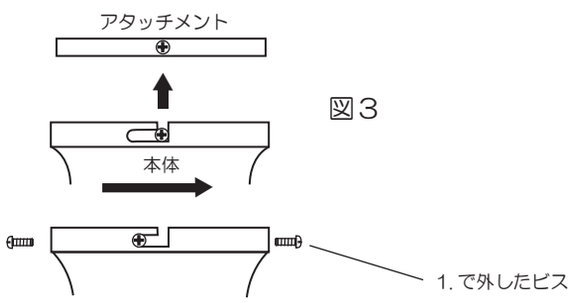
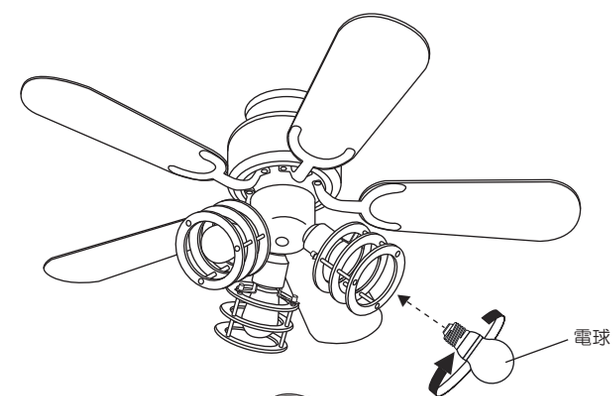
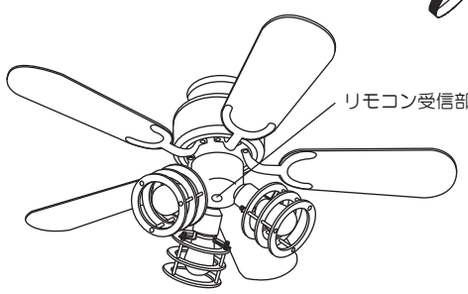


図３





3. 羽根と本体の取り付け

本体モーター部の羽根支持金具のネジ穴にモーターを固定する黒色ゴム製部品が３個付いておりますが、取り外してください。
外した黒色ゴムはその後使用しません。
図2のように①→②→③→④→⑤の順でモーター部のビス穴に羽根支持金具を合せて羽根支持金具用ビスで確実に固定してください。

※羽根支持金具用ビスが緩いと羽根が落下する原因になります。

4. シェードの取り付け

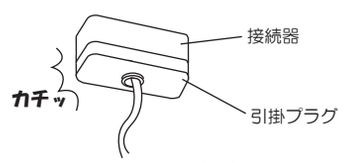
シェードからシェード固定ナットを外し、ソケットの3本のアームにシェードを差し込み、外したシェード固定ナット3個を均等に手で回して締めてください。

※穴が合わず差し込みずら場合はアームを左右どちらかに押しながら入れてください。

5. 本体を天井に取り付け

③で天井に取り付けたアタッチメントのフック掛に仮吊りフックを引掛けてから、引掛プラグを天井接続器に「カチッ」と音がするまで右に回して取り付けてください。

※フックは仮吊り用のもので、長時間手を放して吊ったままの状態にしないでください。
落下の原因になります。



その後、本体を両手でしっかりと支えながら図３のように①で緩めておいたアタッチメントのビスに本体２箇所の切り欠き部分を合せながら、本体を回してください。
①で外したビス２本も取り付け、左右均等に締めてください。
緩めておいたビス2本も左右均等に締めて、合計４本のビスで確実に固定してください。

※ビスが緩いと本体落下の原因になります。

6. 電球の取り付け

ソケットに電球を取り付けてください。
この時、電球を乱暴に扱うと割れたり、ひびが入ったりする恐れがあり危険です。

使用電球
電球形蛍光灯（リモコン機器対応型に限る）
EFA15EL A形 60W形　口金E26

使用可能電球
LED電球 60W形まで 口金E26
（リモコン機器対応型に限る）
白熱電球 一般球 100V 60Wまで 口金E26

7. 家のブレーカーを 入 にしてください。

操作方法は別紙リモコン取扱説明書を参照してください。

安全上の注意

警　告

●器具を改造したり部品を変更して使用しないでください。
　器具落下、感電、火災等の原因となります。
●ランプに水滴をかけたり、器具のすき間などに針金、ピンなどを差し込まないでください。
　電球の破裂によるけがや感電、火災等の原因となります。
●紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置いたりして使用しないでください。
　火災等の原因となります。
●器具の取り付けは重量に耐えるところに確実に行ってください。
　取り付けに不備があると落下し感電、けがの原因となります。

注　意

●点灯中及び消灯直後は電球や器具が高温になっておりますので、手を触れないでください。
　やけど等の原因となります。
●電球交換やお手入れの際は必ずブレーカーを切り、本体・電球が冷えてから行ってください。
　やけど、感電等の原因となります。
●電球交換の際は、必ず本体表示による電球の種類、ワット(W)数以下の適合電球をご使用ください。
　間違った種類、ワット(W)数以上の電球をご使用の場合は加熱による器具の変形、変色火災等の原因となります。
●取り付け前に必ず天井を確認し、接続器にひび・破損等がないかを確認してください。
　落下・故障等の原因となります。
●使用中にがたつき等が発生した場合は、再度取付けを確認してください。
●ファンが回転している間は絶対に触れないでください。
　けがの原因となります。

ご使用上の注意

●必ず指定ワット数以下の電球をご使用ください。(感電・火災・故障等の原因となります)
●この器具は室内使用器具です。但し、浴室などの高温、高湿な場所でのご使用は、絶対にさけてください。(感電・火災・故障等の原因となります)
●器具は必ず水平な天井に取り付けてご使用ください。(落下・故障等の原因となります)
●濡れた手では絶対器具に触れないでください。(感電の恐れがあります)
●引掛けプラグを外す時は、必ずプラグ部分を持って回してください。
　(コードを引っ張ると断線の恐れがあります)
●お手入れの際、シンナー、ベンジンなどのご使用はおやめください。(変色、変質の原因となります)
●お手入れの際、電球や器具に水をかけたり、水洗いしないでください。
　(感電・火災・故障の原因となります)
●器具の近くに高温のストーブ、発熱体を置かないでください。(火災の原因となります)
●ガラスの製品(電球)等の取り扱いにはご注意ください。(割れるとけがの原因となります)
●直接日光の当たる場所でのご使用はおやめください。(変色、変質の原因となります)
●取り付け後は定期的に点検を行い、ネジの緩みやガタつきなどが無いか確認してください。
　(落下の原因になります)

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示

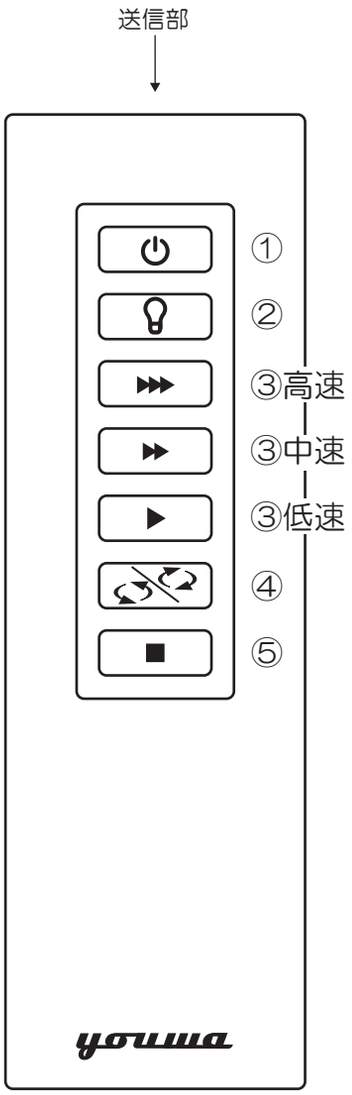
●本体への表示内容
　※経年劣化により危害の発生が高まる恐れがある事を注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を本体に行っています。
　【製造年】本体に西暦４桁で表示してあります。

	【設計上の標準使用期間】10 年 設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至る恐れがあります。

●設計上の標準使用期間とは
　※運転時間や温度・湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用する事が出来る標準的な期間です。
　※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

リモコン送信器取扱説明書
シーリングファン

型番：YCF-358

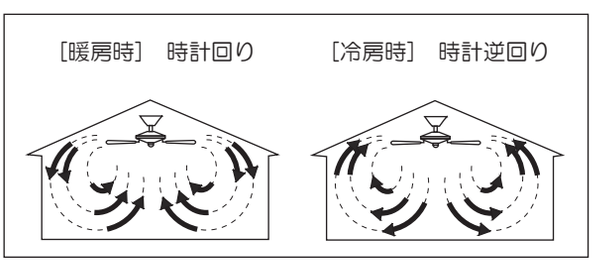


①ライトの入・切
ライトの点灯・消灯をおこないます。

②ライトの切替
ライトの点灯切替を行います。
点灯順は →３→２→１

③ファンの回転速度を変える（ファンの入）
ファンの回転速度を切り替え風量調整をおこないます。
※ファンを回転させる時は、高速のボタンを初めに押してください。
ファンの回転が始ってから中速、低速のボタンを押して切り替えてください。

④ファンの正転・逆転
ファンの回転方向を切り替えます。
冷房時：時計逆回り
暖房時：時計回り
※ファン回転中にボタンを押してください。
停止している時は、ボタンを押しても回転方向は変わりません。



⑤ファンの停止
ファンの回転を停止します。

■壁に調光式スイッチが付いているお部屋では器具の故障となりますのでご使用できません。
■壁スイッチが「切」の場合は送信器では操作できません。
■送信器の操作反応が低下した場合は新しい乾電池２本(単４乾電池１.５V)と交換してください。
また交換の際、種類の異なる乾電池・新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
■送信器を長期間使用しない場合は必ず乾電池を取り外してください。
液漏れによる故障の原因となります。
■器具と送信器の間に障害物がある場合は障害物を避けて操作してください。
動作の感度が悪くなります。
■送信部・受光部が汚れた場合は柔らかい布で拭いてください。動作しにくくなる原因となります。
■器具の近くでインバータ器具を併用しないでください。誤作動の原因となります。
■送信器を落としたり、水をかけたりしないでください。故障の原因となります。
■本取扱説明書の他に本体の取扱説明書もあわせてお読みください。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に下記をご確認ください。

◎ファンが動かない
電気がつかない

■ブレーカーが「切」になっている。
■壁スイッチが「切」になっている。
■リモコンの電池が正しくセットされていない。
又は消耗している。
■リモコンの送信部が汚れている。
■リモコンと本体の間に障害物がある。
■リモコンと本体が3メートル以上離れている。
■本体のリモコン受光部が汚れている。
■羽根が障害物にあたっている。
■天井接続器に引掛けプラグが正しく取り付けられていない。
■電球が正しく取り付けられていない。
■電球が消耗している。

◎本体の揺れが大きい

■羽根が本体に正しく取り付けられていない。
■本体が天井に正しく取り付けられていない。

◎本体が急に動かなくなった

■停電後にリモコンにて動作が出来ない場合は壁スイッチを切り、入れなおしてからリモコンで操作してください。

※上記の項目にあてはまらない場合は販売店又は弊社までご相談ください。

※長時間ご使用にならない場合は必ず主電源（壁スイッチ）を切ってください。
リモコン送信器だけでの消灯は停電時の復旧後に自動点灯します。

youwa
輸入元　株式会社ユーワ
北海道旭川市東鷹栖４線10号2-1
TEL 0166-57-7000
URL http://n43-youwa.com

商品のお問い合わせフリーダイヤル
０１２０－８１－２９８８
（受付時間　土曜・日曜・祝日を除く 10:00～17:00）

MADE IN TAIWAN